

夜の豹 (1957)

PAL JOEY

メディア 映画

ジャンル ロマン스 コメディ ミュージカル

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 109分

初公開日 1958/01/10

公開情報 COL

【解説】

ヤクザなクラブ歌手ジョーイ（シナトラ）は、舞い戻った古巣のサンフランシスコの酒場でその踊り子全員を口説いてしまうという色男ぶりを発揮する。その手練は心得たもので、中でもお堅いリンダ（ノヴァク）にはわざとつれない素振りを見せておいて隣室に入居したり、ペットショップの犬を見ながら、でたらめな昔の飼い犬の話の聞かせ同情を引いたりし、見事術中にはめていく。ヘイワースは元踊り子の金持ちの未亡人という役で、彼女の過去を知るジョーイがそのパーティのチャリティ競売で、彼女の“唄声”をセリにかけける場面が愉快。そこで披露するヘイワースの踊り（唄は二女優とも吹替え）も妖艶でドレスも魅力的。彼女、ヴァネッカは結局、ジョーイ出演の店ごと買い上げて、一等地に彼の名を冠したクラブを建てさせる。が、リンダの存在を疎ましがり、彼女に初めはストリップを演じさせようとし、これをジョーイが止めると、今度はクビにしてしまう。この辺がいかにも図式的で舞台ならそれでよいが、映画だからもう一工夫欲しいところ。しかし、シナトラの歌唱は完璧で、ノヴァクが“マイ・ファニー・ヴァレンタイン”を唄う場面もよい。ロジャース&ハートの甘やかな曲を白人でこれだけジャジィに唄えるのはやはりシナトラ。原作舞台で主役を演じたというジーン・ケリーに出せる味ではない。リンダとの恋のかすがいとなるテリア犬も大活躍のコメディ助演。

【クレジット】

監督	ジョージ・シドニー	George Sidney	
製作	フレッド・コールマー	Fred Kohlmar	
原作	ジョン・オハラ	John O'Hara	
脚本	ドロシー・キングスレイ	Dorothy Kingsley	
撮影	ハロルド・リップスタイン	Harold Lipstein	
編集	ヴィオラ・ローレンス	Viola Lawrence	
	ジェローム・トムス	Jerome Thoms	
作詞	ロレンツ・ハート	Lorenz Hart	
音楽	リチャード・ロジャース	Richard Rodgers	
音楽監修	モリス・ストロフ	Morris Stoloff	
音楽編曲	ネルソン・リドル	Nelson Riddle	
出演	リタ・ヘイワース	Rita Hayworth	ヴェラ・プレントイス=シンプソン
	フランク・シナトラ	Frank Sinatra	ジョーイ・エヴァンス
	キム・ノヴァク	Kim Novak	リンダ・イングリッシュ
	バーバラ・ニコルス	Barbara Nichols	グラディス
	エリザベス・パターソン	Elizabeth Patterson	ケイシー夫人
	ボビー・シャーウッド	Bobby Sherwood	ネッド・ギャルヴィン
	ハンク・ヘンリー	Hank Henry	マイク・ミギンズ